

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成30年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
30-6	地方自治体における道路維持管理業務のための道路構造物に関する情報の利活用方策	筑波大学 教授 堤 盛人	C
<p><研究の概要></p> <p>実際の現場での道路維持管理業務そのものの実施体制等や道路構造物に関わる様々なデータ管理の実態を明らかにし、課題を抽出する。その上で、多額の費用を掛けることなく、通常の業務の延長上での道路維持管理業務に関連する各種資料・データを集約し、それらと道路構造物の点検・診断結果等を地理情報システムを用いたデータベースとして構築する方法を具体的に提示する。そして、自治体での実際の導入とその利活用を実証的に検証する。併せて、研究成果活用の継続性の観点から、提示する方策を担う人材育成に関しても実証的に検討する。</p> <p><中間評価結果></p> <p>これまでの研究成果が地方自治体におけるインフラ管理の実態把握にとどまっており、今後の研究成果のとりまとめの方向性が不明確であることから、研究計画の再検討が必要である。</p> <p><修正内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 研究成果のとりまとめにあたり、地方自治体の現況調査の結果をまとめるにとどまらず、多くの地方自治体をもつ維持管理業務の課題に対して情報の活用による業務効率化が期待されるような成果となるよう、研究計画を修正すべき。 検討項目が複数あり、研究代表者1人では多くの地方自治体で活用できる有益な成果をあげることは困難と考えられ、他の適切な専門分野の方を含めた研究体制の再構築が必要である。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第39回新道路技術会議において審議したものである。